

こちら地域おこし協力隊

たむら かずき
田村 一樹



地域おこし協力隊として着任し、初めての春を迎えました。世の中はマスクが必要なくなりましたが、私自身は花粉症が酷く、なかなかマスクが手放せません。



さて、私は現在お米を作るべく米農家さんのもとで研修させていただきながら借りている畑で野菜の栽培も行っております。最近では植えた野菜の双葉が出てきて、春の訪れを感じざるを得ません。協力隊で管理しているトライアルファームで育てる野菜の苗も順調に育ってきていますので、今後は定植等、本格的な野菜づくりの作業が始まります。できた野菜の活用方法についてはまだ未定ですが、ここで育った野菜を多くの人に食べてもらいたい所存です。



さいじょう だい ち
西條 大地



初夏に入り、人も農作物も賑わいを見せる時期となりました。私自身も高山村に来て初めて感じる季節となり、非常にワクワクしています。

高山村に来てから、自身で企画した初めてのイベント「さとのわシネマ」を4月に行いました。企画から実施まで思った以上に忙しかったですが、この経験をしっかりと生かしていきたいと思いました。他にも、今年退任された協力隊の西山さんが企画した上毛かるたイベントのサポートや、その他さとのわで開催されたイベントの対応を中心に活動しました。これからも、村内の皆様が楽しめるイベントをたくさん企画していけたらと思っています。



フォトショット



春の訪れを感じる名久田川



どうどうふち 鐘々淵(関田)

名久田川の流が関田地内の上流部で数丈の滝となり、その下が淵となっていて、滝の音が、どうどうと遠くまで響いていたのでこう呼ばれたそうです。

※参考文献

『たかやまの文化財』高山村教育委員会事務局/編、高山村教育委員会/発行 2018.3.30改訂版



夕焼けに染まる名久田川



4/1 保育所入所式



3/26 上毛かるた さとのわ杯 一般の部



4/17 姉妹校トーマス・ハッサール校生徒と高山中生徒の交流

